

平成30年度行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	海岸事業			担当部局庁	水管理・国土保全局	作成責任者	
事業開始年度	昭和24年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	海岸室	室長 齋藤 博之	
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)	海岸法(昭和31年5月12日)第6条、第27条、第37条の2			関係する計画、通知等	社会資本整備重点計画(社会資本整備重点計画法第4条)(第4次社会資本整備重点計画:平成27年9月18日閣議決定) 海岸保全基本計画(海岸法第2条)		
主要政策・施策	海洋政策、国土強靱化施策			主要経費	公共事業		
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	津波、高潮、波浪その他海水又は地盤の変動による被害から海岸を防護するとともに、海岸環境の整備と保全及び公共の海岸の適正な利用を図り、もって国土の保全に資する。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	津波、高潮、波浪、海岸侵食による災害から背後の人命や財産の防護、国土保全に資することを目的に、被災のメカニズムや特性等を把握するため、海象観測や現地調査・地質調査等を実施し、その結果を基に対策工事の計画を立案するとともに、この計画に基づき、堤防、突堤、護岸、離岸堤等の整備を行う。 また、国土保全上極めて重要である沖ノ鳥島海岸で、海岸の維持管理を実施する。 国費率・補助率 直轄事業:国10/10、2/3						
実施方法	直接実施、委託・請負						
予算額・執行額(単位:百万円)			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度要求
	予算 の 状 況	当初予算	11,723	11,727	11,744	11,749	14,257
		補正予算	1,196	1,508	1,270		
		前年度から繰越し	2,824	4,551	4,760	4,737	
		翌年度へ繰越し	▲ 4,551	▲ 4,760	▲ 4,737		
		予備費等	0	0	0		
		計	11,192	13,026	13,037	16,486	14,257
	執行額		11,186	12,890	13,030		
	執行率(%)		100%	99%	100%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		87%	97%	100%		
平成30・31年度 予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	30年度当初予算	31年度要求	主な増減理由			
	海岸事業費	11,749	14,257	「新しい日本のための優先課題推進枠」3,921			
	その他	0	0				
	計	11,749	14,257				

	定量的な成果目標		成果指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標		目標最終年度	
									-	年度	32	年度
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	平成32年度に南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における海岸堤防等の整備率を約39%から約69%まで引き上げる	南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における海岸堤防等の整備率(計画高までの整備と耐震化) (=計画高さまでの整備と耐震性の確保が完了している延長/南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等で、耐震対策等により背後地の重要な保全対象等の防護が完了する海岸における堤防等の延長)	成果実績	%	40	46	47	-	-	-	-	
			目標値	%	-	-	-	-	-	69		
			達成度	%	58	67	68	-	-			
根拠として用いた統計・データ名(出典)	南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における海岸堤防等の整備率(計画高までの整備と耐震化)(農林水産省(農村振興局、水産庁)及び国土交通省(水管理・国土保全局、港湾局)調べ(平成30年3月))											
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	平成32年度に現状の汀線防護が完了した割合を約74%から約76%まで引き上げる	侵食海岸において、現状の汀線防護が完了した割合(=現状の汀線防護が完了した延長/侵食海岸の延長)	成果実績	%	75	77	77	-	-	-	-	
			目標値	%	-	-	-	-	-	76		
			達成度	%	99	100	100	-	-			
根拠として用いた統計・データ名(出典)	侵食海岸において、現状の汀線防護が完了した割合(農林水産省(農村振興局、水産庁)及び国土交通省(水管理・国土保全局、港湾局)調べ(平成30年3月))											
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載									チェック			
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
	海岸事業実施箇所(直轄)		活動実績	箇所	12	12	12	-	-			
		当初見込み	箇所	12	12	12	12	-				
単位当たり コスト	算出根拠				単位	27年度	28年度	29年度	30年度活動見込			
	/		単位当たりコスト	-	-	-	-	-	-	-		
		計算式	/	-	-	-	-	-	-			
政策評価、 経済・ 財政再生 アクション・ プログラムとの 関係	政策	4 水害等災害による被害の軽減										
	施策	13 津波・高潮・侵食等による災害の防止・減災を推進する										
	測定 指標	定量的指標				単位	27年度	28年度	29年度	中間目標	目標年度	
		南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における海岸堤防等の整備率(計画高までの整備と耐震化)		実績値	%	40	46	47	-	-		
			目標値	%	-	-	-	-	69			
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	大規模地震が想定されている地域等において、海岸堤防、突堤、護岸、離岸堤等の整備を実施することにより、整備率の向上に寄与する。											
	改革 項目	分野	-									
	(第一 階層) KPI	KPI (第一階層)				単位	計画開始時	29年度	30年度	中間目標	目標最終年度	
				成果実績	-	-	-	-	-	-		
		目標値	-	-	-	-	-	-				
		達成度	%	-	-	-	-	-				
(第二 階層) KPI	KPI (第二階層)				単位	計画開始時	29年度	30年度	中間目標	目標最終年度		
			成果実績	-	-	-	-	-	-			
			目標値	-	-	-	-	-	-			
			達成度	%	-	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												
-												

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明					
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	海岸の保全等を目的とした重要な事業であり、国民や社会のニーズは高い。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	海岸法等の関係法令に基づき、海岸の保全を目的に国が実施している重要な事業である。					
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	海岸事業により、津波・高潮・侵食等による災害の防止・減災等を実施しており、優先度の高い事業である。					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	入札・契約手続きの透明性・競争性の確保に努めており、支出先は競争入札等の適切な入札・契約方式により決定している。					
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	一者応札及び一者応募となった案件は、同種・類似業務の実績がある業者が多数いることを把握したうえで、適切な発注条件のもと随意契約(企画競争)で発注した結果、一者のみの応札・応募となったものである。					
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有	競争性のない随意契約となった案件は、土地使用料や橋梁架設負担金等であり、その所有者は一者に限定されることから、その者との随意契約について問題は無い。					
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	関係法令に基づいて費用を国と地方公共団体で分担している。関係都府県に対して、毎年度、事業費や実施内容等を説明するなど、効率的な事業執行及び透明性の確保に努めている。					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	現地の施工条件に合わせ経済的な施工を行っている。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	実施内容に応じて、地方整備局等へ適切に配分している。					
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業目的に沿って予算を執行しており、その執行状況等を適切に把握・確認している。					
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-						
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	海岸事業の実施にあたり、関係機関との協議・許認可等に不測の日数を要したことに伴い、事業の執行が見込みを下回ったこと等のため。						
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	事業実施にあたっては、複数の工法を比較検討し、効果的で低コストな工法を用いるなど、コスト削減に努めている。						
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果目標の達成に向け着実に実績をあげている。					
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	複数の工法を比較検討し、効果的で低コストな工法を用いるなど、コスト削減に努めている。					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	活動実績は見込みに見合った実績をあげている。					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	整備した施設は、海岸保全の所要な機能を発揮している。					
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>所管府省名</th> <th>事業番号</th> <th>事業名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	所管府省名	事業番号	事業名				
所管府省名	事業番号	事業名						
点検・改善結果	点検結果		<ul style="list-style-type: none"> ・直轄事業については、予算の執行状況について、各地方整備局等を通じて確認し、事業の効果的・効率的な実施に努めている。また、資金の流れの検証ができるよう、全ての工事・業務等について契約額・支出先及び契約方式等を把握している。 ・直轄事業に関しては、限られた予算の中で、過去の被災履歴や海岸侵食の状況などの災害の起こりやすさと、背後地の資産集積状況など災害が発生した際に想定される被害の程度を勘案して事業実施の優先順位を明確にし、重点的な投資を行っている。 ・引き続き、沖ノ鳥島の適切な維持管理を図るため、護岸コンクリートの損傷について点検やひび割れの補修等を行い、施設の延命化を図っている。 					
	改善の方向性		引き続き、限られた予算の中でコスト削減に努め、効果的・効率的な海岸事業の推進を図る。					

外部有識者の所見

行政事業レビュー推進チームの所見

一部
改善
の
事業
内容

南海トラフ巨大地震等想定される大規模地震に備え、地方公共団体等関係者との連携を図りながら、海岸堤防等の整備や海岸堤防等の老朽化対策について、より一層効果的・効率的な実施に努めるべき。また、沖ノ鳥島についても、その適切な保全を進めるため、施設の点検・修繕、延命化に努めるべき。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

執行
等
改善

南海トラフ巨大地震等想定される大規模地震によって発生することが想定される最大クラスの津波に対し、住民の生命を守るために、地方公共団体による津波災害警戒区域の指定等、津波防災地域づくり等が進むよう引き続き支援するとともに、背後に人命や財産が集中する海岸における海岸保全施設等の整備を重点的に推進し、効果的・効率的に事業を実施する。
沖ノ鳥島については、波浪等による厳しい環境下に有ることから、その保全を確実に進めていくため、施設の延命化に資する点検・修繕を十分な頻度で実施する。

備考

【平成21年度事業仕分け評価結果】

- ・海岸環境整備事業
予算要求の縮減

【平成23年度提言型政策仕分け評価結果】

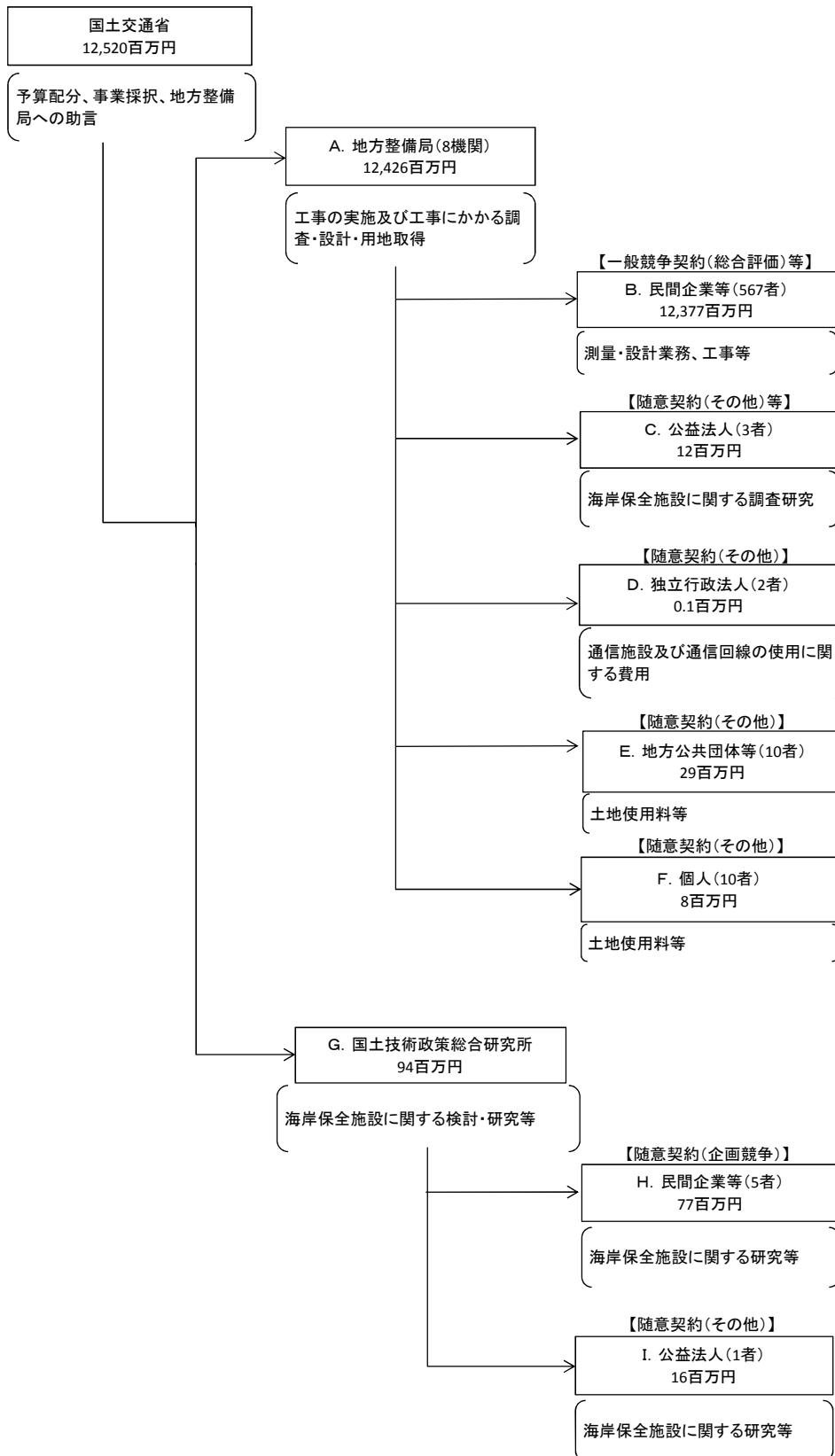
- ・公共事業：中長期的な公共事業の在り方
 - 公共事業について、現状では持続可能性がない。新規投資は厳しく抑制していき、選択と集中の考え方をより厳格に進めるべき。
また、民間資金の一層の活用を図るべき。この前提として、公共事業の全体像について一層の説明責任を果たすべき。
 - 既存ストックの維持管理・更新については、民間資金の一層の活用を図るとともに重点化や長寿命化を図りつつ、見直しを立てた計画的な更新を行うべき。
- ・公共事業：災害に強い国土づくり
 - 防災の取組みは、なお不十分である。国は自治体への「技術的な支援」をより一層強化すべき。
また、国と自治体との検討の場を設けるなど、相互連携を進める中で、既存施策にとらわれない新たなソフト対策を検討していくべき。

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	193	平成23年度	163	平成24年度	171	平成25年度	22
平成26年度	23	平成27年度	23	平成28年度	30		
平成29年度	国土交通省 (0029)						

※平成29年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



※契約ベース。

A.北陸地方整備局			B.(株)本間組		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
直轄事業費	工事の実施及び工事にかかる調査・設計等	3,083	工事	海岸保全工事	517
計		3,083	計		517
E.新潟県新潟地域振興局長			G.国土技術政策総合研究所		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
直接事業費	土地使用料	3	直接事業費	海岸保全施設に関する検討・研究等	94
計		3	計		94
H.(株)建設技術研究所 東京本社			I.国立大学法人東京大学工学系・情報理工学系等事務部		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
業務	海岸保全施設に関する研究等	30	業務	海岸保全施設に関する研究等	16
計		30	計		16
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載				チェック	

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

※B, C, D, E, Fについては、「A. 地方整備局等(8機関)」のうち、支出額が大きい北陸地方整備局を代表として、各ブロック(B, C, D, E, F)の上位1者を記載。
 (北陸地方整備局については、C, D, Fは該当無し)
 ※H, Iについては、「G. 国土技術政策総合研究所」のうち、各ブロック(H, I)の上位1者を記載。

支出先上位10者リスト

A. 地方整備局

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	関東地方整備局	2000012100001	工事の実施及び工事にかかる調査・設計等	3,135	—	—	—	—
2	北陸地方整備局	2000012100001	工事の実施及び工事にかかる調査・設計等	3,083	—	—	—	—
3	中部地方整備局	2000012100001	工事の実施及び工事にかかる調査・設計等	2,480	—	—	—	—
4	四国地方整備局	2000012100001	工事の実施及び工事にかかる調査・設計等	1,557	—	—	—	—
5	中国地方整備局	2000012100001	工事の実施及び工事にかかる調査・設計等	654	—	—	—	—
6	近畿地方整備局	2000012100001	工事の実施及び工事にかかる調査・設計等	647	—	—	—	—
7	九州地方整備局	2000012100001	工事の実施及び工事にかかる調査・設計等	544	—	—	—	—
8	東北地方整備局	2000012100001	工事の実施及び工事にかかる調査・設計等	276	—	—	—	—

B. 民間企業

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)本間組	6110001005155	海岸保全工事	517	一般競争契約 (総合評価)	3	90%	—
2	共和土木(株)	5230001007306	海岸保全工事	316	一般競争契約 (総合評価)	5	90%	—
3	(株)飯作組	7230001007535	海岸保全工事	302	一般競争契約 (総合評価)	5	91%	—
4	朝野工業(株)	1230001006963	海岸保全工事	260	一般競争契約 (総合評価)	5	90%	—
5	日本海建設(株)	1110001004236	海岸保全工事	251	一般競争契約 (総合評価)	8	89%	—
6	桜井建設(株)	9230001007335	海岸保全工事	195	一般競争契約 (総合評価)	7	90%	—
7	加賀建設(株)	7220001001976	海岸保全工事	174	一般競争契約 (総合評価)	6	90%	—
8	(株)明翫組	4220001006904	海岸保全工事	169	一般競争契約 (総合評価)	7	90%	—
9	(株)東城	5230001007132	海岸保全工事	111	一般競争契約 (総合評価)	8	91%	—
10	(株)吉光組	8220001012568	海岸保全工事	93	一般競争契約 (総合評価)	7	90%	—

E. 地方公共団体等

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	新潟県新潟地域振興局長	5000020150002	土地使用料	3	随意契約 (その他)	1	100%	—
2	富山県知事	7000020160008	橋梁架替負担金	0.1	随意契約 (その他)	1	100%	—

※B, C, D, E, Fについては、「A. 地方整備局等(8機関)」のうち、支出額が大きい北陸地方整備局を代表として、各ブロック(B, C, D, E, F)の上位10者を記載。
(北陸地方整備局については、C, D, Fは該当無し)

※H, Iについては、「G. 国土技術政策総合研究所」のうち、各ブロック(H, I)の上位10者を記載。

※B, E, H, Iについて複数契約がある場合、業務概要、契約方式、入札者数、落札率は、最も支出額が大きいものを代表的に記載。

G. 国土技術政策総合研究所

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国土技術政策総合研究所	2000012100001	海岸保全施設に関する検討・研究等	94	—	—	—	—

H. 民間企業等

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)建設技術研究所 東京本社	7010001042703	海岸保全施設に関する検討・研究等	30	随意契約 (企画競争)	1	99%	—
2	(株)アルファ水エコンサルタンツ	3430001001109	海岸保全施設に関する検討・研究等	17	随意契約 (企画競争)	2	100%	—
3	高波浪による海側の被災に対して粘り強い海岸堤防に関する水理実験業務 土木研究センター・日本ミクニヤ設計共同体	6010505002096	海岸保全施設に関する検討・研究等	15	随意契約 (企画競争)	1	100%	—
4	(株)パスコ 中央事業部	5013201004656	海岸保全施設に関する検討・研究等	8	随意契約 (企画競争)	4	97%	—
5	(株)エコー	2010501016723	海岸保全施設に関する検討・研究等	8	随意契約 (企画競争)	1	100%	—

I. 公益法人

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人東京大学工学系・情報理工学系等事務部	5010005007398	海岸保全施設に関する検討・研究等	16	随意契約 (その他)	1	100%	—

支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

チェック

※B, C, D, E, Fについては、「A. 地方整備局等(8機関)」のうち、支出額が大きい北陸地方整備局を代表として、各ブロック(B, C, D, E, F)の上位10者を記載。
(北陸地方整備局については、C, D, Fは該当無し)

※H, Iについては、「G. 国土技術政策総合研究所」のうち、各ブロック(H, I)の上位10者を記載。

※B, E, H, Iについて複数契約がある場合、業務概要、契約方式、入札者数、落札率は、最も支出額が大きいものを代表的に記載。

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1	B	(株)本間組	6110001005155	海岸保全工事	517	一般競争契約 (総合評価)	3	90%	—
2	B	日本海建設(株)	1110001004236	海岸保全工事	251	一般競争契約 (総合評価)	8	89%	—
3	B	(株)ティーネットジャパン 北陸支社	6470001002109	工事監督支援業務	32	一般競争契約 (総合評価)	2	84%	—
4	B	(株)建設マネジメント北陸新潟支店	7110001029293	工事監督支援業務	11	一般競争契約 (総合評価)	1	82%	—
5	B	(株)建設マネジメント北陸富山支店	7110001029293	積算技術業務	10	一般競争契約 (総合評価)	1	100%	—
6	B	北陸パブリックメンテナンス(株)	6110001005007	海岸保全工事	3	一般競争契約 (総合評価)	1	97%	—

※国庫債務負担行為等による契約先上位10者リストについては、「A. 地方整備局等(8機関)」のうち、支出額が大きい北陸地方整備局を代表として記載。

平成30年度行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	海岸事業 (直轄)			担当部局	港湾局		作成責任者		
事業開始年度	昭和47年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	海岸・防災課		課長 加藤 雅啓		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	海岸法 (第6条)			関係する計画、通知等	社会資本整備重点計画 (平成27年9月18日閣議決定) 海岸保全基本計画 (海岸法第2条)				
主要政策・施策	海洋政策、国土強靱化施策			主要経費	公共事業				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	津波、高潮、波浪その他海水又は地盤の変動による被害から海岸を防護するとともに、海岸環境の整備と保全及び公衆の海岸の適正な利用を図り、もって国土の保全に資する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	津波・高潮、波浪、海岸侵食による災害から背後の人命や財産を防護し、国土保全に資することを目的に、堤防、突堤、護岸、離岸堤等の整備を行う。 国費率 直轄事業：国10/10、2/3								
実施方法	直接実施、委託・請負								
予算額・執行額 (単位：百万円)	予算の状況	当初予算	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度要求		
		補正予算	9,509	9,512	9,517	9,492	11,399		
		前年度から繰越し	642	1,785	1,172				
		翌年度へ繰越し	2,551	1,988	2,660	2,955			
		予備費等	▲ 1,988	▲ 2,660	▲ 2,955				
		計	-	-	-				
	執行額	10,714	10,625	10,394	12,447	11,399			
	執行率 (%)	10,713	10,623	10,383					
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)	100%	100%	100%					
		106%	94%	97%					
平成30-31年度予算内訳 (単位：百万円)	歳出予算目	30年度当初予算	31年度要求	主な増減理由					
	海岸保全施設整備事業費	9,435	11,342	「新しい日本のための優先課題推進枠」2,878					
	海岸事業調査費	41	41						
	営繕宿舍費	16	16						
	計	9,492	11,399						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 32 年度
	南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における海岸堤防等の整備率を69%とする。	南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における海岸堤防等の整備率(計画高までの整備と耐震化)(=計画高さまでの整備と耐震性の確保が完了している延長/南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等で、耐震対策等により背後地の重要な保全対象等の防護が完了する海岸における堤防等の延長)	成果実績	%	40	46	47	-	-
			目標値	%	-	-	-	-	69
			達成度	%	58	66.7	68.1	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における海岸堤防等の整備率(計画高までの整備と耐震化)(農林水産省(農村振興局、水産庁)及び国土交通省(水管理・国土保全局、港湾局)調べ(平成30年3月))								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 32 年度
	侵食海岸において、現状の汀線防護が完了した割合を平成32年度までに76%までとする。	侵食海岸において、現状の汀線防護が完了した割合(=現状の汀線防護が完了した延長/侵食海岸の延長)	成果実績	%	75	77	77	-	-
			目標値	%	-	-	-	-	76
			達成度	%	98.7	101.3	101.3	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	侵食海岸において、現状の汀線防護が完了した割合(農林水産省(農村振興局、水産庁)及び国土交通省(水管理・国土保全局、港湾局)調べ(平成30年3月))								
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							チェック		

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	27年度	28年度	29年度	30年度 活動見込	31年度 活動見込
	活動実績	箇所						
	海岸事業実施箇所	当初見込み	箇所	8	9	9	8	-
単位当たり コスト	算出根拠		単位	27年度	28年度	29年度	30年度活動見込	
	執行額/海岸事業実施箇所	単位当たり コスト					百万円/港	1,339
		計算式	百万円/港	10,713/8	10,623/9	10,383/10	12,447/8	

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	4 水害等災害による被害の軽減								
		施策	13 津波・高潮・侵食等による災害の防止・減災を推進する							
	測定指標		定量的指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標年度 32 年度
		56 南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における海岸堤防等の整備率(計画高までの整備と耐震化)	実績値	%	40	46	47	-	-	
			目標値	%	-	-	-	-	69	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	津波・高潮、波浪、海岸侵食による災害から背後の人命や財産を防護し、国土保全に資することを目的に、堤防、突堤、護岸、離岸堤等の整備を行う。									
	改革項目	分野:	-							
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	29年度	30年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-	
目標値			-	-	-	-	-	-		
達成度		%	-	-	-	-	-	-		
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	29年度	30年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
		成果実績	-	-	-	-	-	-		
	目標値	-	-	-	-	-	-			
達成度	%	-	-	-	-	-	-			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										
-										

事業所管部局による点検・改善

項目	評価	評価に関する説明
事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	災害から人命や財産を防護し、国土保全に資することを目的としており国民や社会のニーズを的確に反映している。
地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	工事規模が著しく大きく、高度の技術力を必要とするもので、国土保全上特に重要な海岸を直轄事業で実施している。
政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	社会資本整備重点計画において指標を立て、重点目標にも合致しており、優先度の高い事業である。

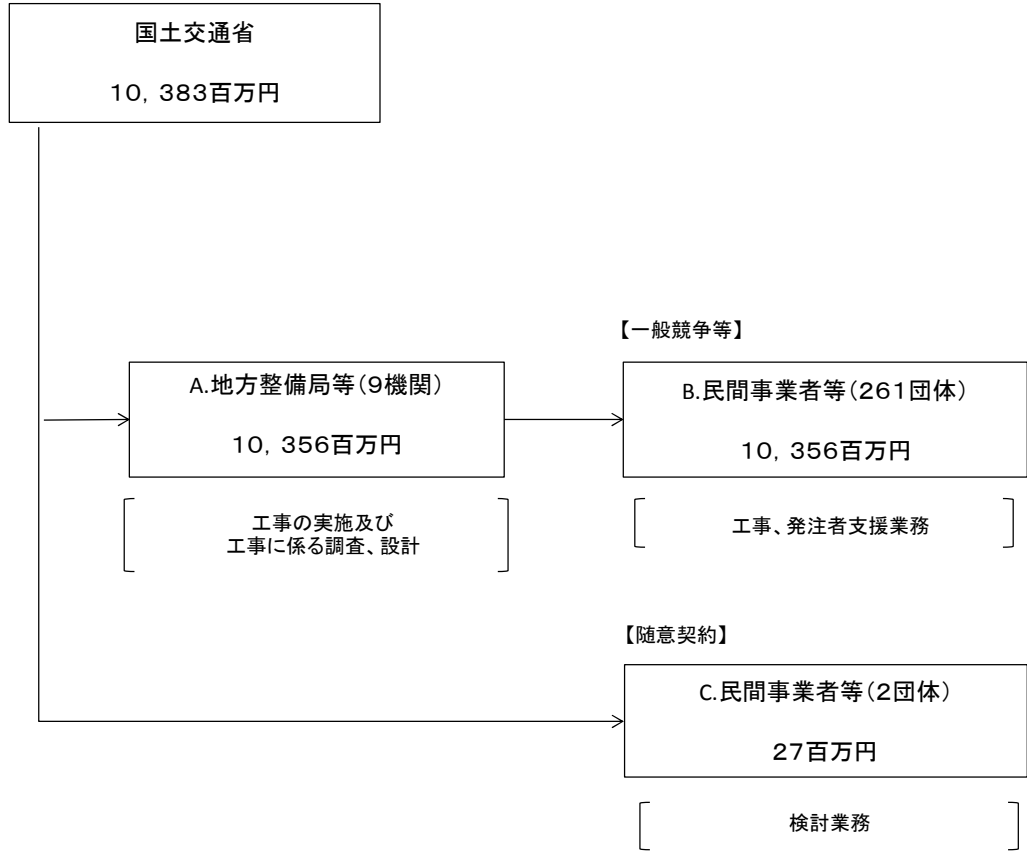
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出先は競争入札により選定しており妥当である。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。		無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	海岸法等に基づき海岸管理者から負担を求めている。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	現地の施工条件に合わせ経済的、かつ、海岸事業の目的に即した設計・施工を行っている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○	地方整備局等において事業に必要な契約による適切な支出を行っている。
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	限られた予算の範囲において、事業目的に沿って真に必要な事業を実施している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	施工にあたり背後地関係者との調整に不測の時間を要した等のため	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		○	複数の工法を比較検討し、効果的で低コストのものを選択するなどコスト削減に努めている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		○	限られた予算の範囲において、効率的な配分の観点から、早期に効果が発揮できる箇所に予算を集中させている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	複数の工法を比較検討し、効果的で低コストのものを選択するなどコスト削減に努めている。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	事業箇所を適切に管理し、計画的な実施に努めている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	整備された施設は、津波、高潮、侵食に対して十分な防護効果を発揮している。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	海岸法等の関係法令に基づき、適切な役割分担となっている。
	所管府省名	事業番号	事業名	
	国土交通省	0384	社会資本整備総合交付金	
	国土交通省	0385	防災・安全交付金	
点検・改善結果	点検結果	・海岸事業は、津波、高潮、浸食による災害から背後の人命や財産を防護し、国土保全に資する必要不可欠な事業である。 ・直轄事業については、予算執行状況について、各地方整備局から確認し、事業の効果的・効率的な実施に努めている。また、資金の流れの検証ができるよう全ての工事・業務について契約額・支出先及び契約方式を把握している。		
	改善の方向性	・引き続き、適切な競争入札や事業評価の実施によりコスト削減を図りつつ、限られた予算の範囲において、早期に効果が発揮できる箇所に予算を集中させ効率的な事業実施に努める。		
外部有識者の所見				
-				
行政事業レビュー推進チームの所見				
一部の改善	事業内容	切迫する大規模災害などを踏まえて事業箇所の選定を行うとともに、限られた予算の中で最大限の事業効果が得られるよう、事業の更なる効率化や計画期間内での完了を徹底すること。 また、繰越額が増加傾向にあるため、その原因等を十分に検証し、計画的な事業実施に努めること。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
執行等改善		南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域における事業箇所に重点配分することにより、限られた予算の中で最大限の事業効果を発揮させるとともに、計画期間内での完了に向けて、事業進捗管理を徹底することとしたい。 また、工事に係る地元調整等の計画的な実施により繰越額の縮減を図りたい。		
備考				
-				

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	365	平成23年度	339	平成24年度	353	平成25年度	26
平成26年度	27	平成27年度	27	平成28年度	35		
平成29年度	国土交通省 (0034)						

※平成29年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何をいつしているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



A.北陸地方整備局			B.五洋建設		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	海岸保全施設整備事業	2,443	事業費	福井港海岸(福井地区)護岸(改良)地盤改良工事(その2)	300
			事業費	撫養港海岸桑島瀬戸地区堤防改良工事(その2)	263
			事業費	平成28年度 津松阪港津地区(阿漕浦・御殿場)3-1工区堤防(改良)本体工事	254
			事業費	和歌山下津港海岸(海南地区)冷水側津波防波堤上部工等工事	196
			事業費	和歌山下津港海岸(海南地区)日方水門築造工事	181
			事業費	撫養港海岸付帯工事 (その2)	2
			事業費	撫養港海岸水路橋面舗装工事	0
計		2,443	計		1,196

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で表情が分かるように記載)

(国研)海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究			D.		
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
事業費	港湾の施設の技術上の基準における外力等の条件設定に関する基礎的研究委託	7			
事業費	港湾の施設の技術上の基準における構造設計及び維持管理技術に関する基礎的研究委託	7			
計		14	計		0

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	北陸地方整備局	2000012100001	海岸保全施設整備事業	2,443		-	-	
2	九州地方整備局	2000012100001	海岸保全施設整備事業	2,366		-	-	
3	近畿地方整備局	2000012100001	海岸保全施設整備事業	1,727		-	-	
4	中部地方整備局	2000012100001	海岸保全施設整備事業	1,419		-	-	
5	中国地方整備局	2000012100001	海岸保全施設整備事業	1,162		-	-	
6	四国地方整備局	2000012100001	海岸保全施設整備事業	1,077		-	-	
7	国土技術政策総合研究所	2000012100001	海岸保全施設整備事業	122		-	-	
8	関東地方整備局	2000012100001	海岸保全施設整備事業	20		-	-	
9	東北地方整備局	2000012100001	海岸保全施設整備事業	20		-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	五洋建設(株)	1010001000006	福井港海岸(福井地区)護岸(改良)地盤改良工事(その2)等	1,196	一般競争契約 (総合評価)	2	90.4%	
2	東洋建設(株)	9120001077496	新潟港海岸(西海岸地区)突堤築造工事等	992	一般競争契約 (総合評価)	4	89.1%	
3	関門港湾建設(株)	7250001005289	下関港海岸(長府・壇ノ浦地区)護岸(改良)工事(8工区)等	641	一般競争契約 (総合評価)	1	97%	
4	洋伸建設(株)	9240001012202	広島港海岸中央東地区(矢野)護岸(改良)築造工事(その7)等	540	一般競争契約 (総合評価)	2	90.6%	
5	東亜建設工業(株)	3011101055078	和歌山下津港海岸(海南地区)琴の浦水門取付護岸築造等工事等	501	一般競争契約 (総合評価)	6	89.6%	
6	日本土建(株)	5190001000827	平成29年度 津松阪港津地区(阿漕浦・御殿場)1工区堤防(改良)本体工事等	443	一般競争契約 (総合評価)	4	89.4%	
7	(一財)港湾空港総合技術センター	5010005002705	和歌山下津港等施工状況確認等補助業務等	331	一般競争契約 (総合評価)	1	94.4%	
8	(株)渡辺組	5340001004663	平成29年度指宿港海岸(湯の浜地区)離岸堤(改良)石材品質管理試験等	314	一般競争契約 (総合評価)	4	90%	
9	あおみ建設(株)	6010401076946	福井港海岸(福井地区)護岸(改良)地盤改良工事(その2)等	277	一般競争契約 (総合評価)	2	90.4%	
10	(株)ポルテック	5010401047320	平成29年度 津松阪港事務所監督等補助業務等	263	一般競争契約 (総合評価)	1	94.6%	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(国研)海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究所	5012405001732	港湾の施設の技術上の基準における外力等の条件設定に関する基礎的研究委託等	15	随意契約 (公募)	-	100%	
2	(一財)沿岸技術研究センター	2010005018571	海岸保全施設における水門・陸閘等の維持管理マニュアル検討業務	12	随意契約 (企画競争)	1	98.4%	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1	B	東亜建設工業(株)	9120001077496	平成29年度下関港海岸(長府・壇ノ浦地区)護岸(改良)工事(4工区)	531	一般競争契約(総合評価)	2	90.1%	
2	B	東亜建設工業(株)	9120001077496	新潟港海岸(西海岸地区)突堤本体工事(その3)	160	一般競争契約(総合評価)	3	90.1%	
3	B	(株)不動産トラ	4010001141053	平成29年度 津松阪港津地区(阿漕浦・御殿場)2-2工区堤防(改良)本体工事	476	一般競争契約(総合評価)	5	90.2%	
4	B	(株)本間組	6110001005155	新潟港海岸(西海岸地区)突堤築造工事	328	一般競争契約(総合評価)	6	90.1%	
5	B	(株)ポルテック	5010401047320	平成29年度 津松阪港事務所監督等補助業務	115	一般競争契約(総合評価)	1	94.6%	
6	B	(株)ポルテック	5010401047320	広島港等施工状況確認等補助業務	96	一般競争契約(総合評価)	1	94.6%	
7	B	(株)ポルテック	5010401047320	広島港等監督等補助業務	70	一般競争契約(総合評価)	1	79.3%	
8	B	日本土建(株)	5190001000827	平成29年度 津松阪港津地区(栗真町屋)3工区堤防(改良)本体工事	223	一般競争契約(総合評価)	5	91.3%	
9	B	洋伸建設(株)	9240001012202	広島港海岸中央東地区(矢野)護岸(改良)築造工事	217	一般競争契約(総合評価)	4	93.1%	
10	B	(株)中元組	3110001024356	新潟港海岸(西海岸地区)突堤本体工事(その2)	145	一般競争契約(総合評価)	4	99.9%	
11	B	成建工業(株)	6250001003343	平成29年度下関港海岸(長府・壇ノ浦地区)護岸(改良)ブロック製作工事	108	一般競争契約(総合評価)	3	90%	
12	B	(株)岩野建設	2340001009368	平成29年度指宿港海岸(湯の浜地区)離岸堤(改良)消波ブロック製作工事	49	一般競争契約(総合評価)	7	92%	
13	B	(一財)港湾空港総合技術センター	5010005002705	平成29年度九州地方整備局管内港湾・空港等発注補助業務	14	一般競争契約(総合評価)	1	95.9%	
14	B	(一財)港湾空港総合技術センター	5010005002705	技術審査補助業務	7	一般競争契約(総合評価)	1	88.5%	
15	B	(一財)港湾空港総合技術センター	5010005002705	管内技術審査資料作成補助業務	1	一般競争契約(総合評価)	1	93.3%	

平成30年度行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	河川・海岸等復興関連事業（水管理・国土保全局所管） （東日本大震災関連）			担当部局庁	水管理・国土保全局		作成責任者
事業開始年度	平成23年度	事業終了 （予定）年度	平成27年度	担当課室	治水課 海岸室 砂防計画課 保全課 河川環境課	課長 井上 智夫 室長 齋藤 博之 課長 今井 一之 課長 岡本 敦 課長 光成 政和	
会計区分							
根拠法令 （具体的な 条項も記載）	・河川法 ・砂防法 ・海岸法 等			関係する 計画、通知等	東日本大震災からの復興の基本方針 等		
主要政策・施策	-			主要経費			
事業の目的 （目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	東日本大震災の被災を教訓として、災害に強い社会基盤整備をはじめとする国民生活の安全・安心の確保に向けた取組を緊急に進める。						
事業概要 （5行程度以内。別添可）	東日本大震災における堤防の液状化や津波の河川遡上による被害、水門等の操作員の被災等を踏まえ、東海、東南海・南海地震の対策地域等における津波が遡上する区間や、ゼロメートル地帯等で大規模な地震に伴う堤防の液状化等により甚大な被害が想定される区間において、即効性の高い堤防のかさ上げや堤防等の耐震・液状化対策、水門等の自動化・遠隔操作化を実施。						
実施方法							
予算額・ 執行額 （単位：百万円）	予算 の 状 況	当初予算	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度要求
		補正予算	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し	12,165	16,624	1,866	-	-
		翌年度へ繰越し	▲ 16,624	▲ 1,866	-	-	-
		予備費等	-	-	-	-	-
		計	20,785	14,758	1,866	0	0
	執行額	20,701	14,590	1,841	-	-	
	執行率（%）	100%	99%	99%	-	-	
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合（%）	82%	#DIV/0!	#DIV/0!	-	-	
	平成30・31年度 予算内訳 （単位：百万円）	歳出予算目	30年度当初予算	31年度要求	主な増減理由		
河川整備事業費		-	-				
海岸事業費		-	-				
その他		#VALUE!	#VALUE!				
計		-	-				

	定量的な成果目標	成果指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標		目標最終年度		
								- 年度	32 年度	- 年度	32 年度	
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における河川堤防の整備率(計画高までの整備と耐震化)を平成32年度までに約37%から約75%まで引き上げる。	南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における河川・海岸堤防等の整備率(計画高までの整備と耐震化)及び水門・樋門等の耐震化率(①河川堤防の整備率)(対策を実施した延長/南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等で、堤防の崩壊により甚大な被害が想定される区間において、耐震対策等が必要な河川堤防の延長)	成果実績	%	42	47	55	-	-	-	-	
			目標値	%	-	-	-	-	-	75	-	-
			達成度	%	56	63	73	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における河川・海岸堤防等の整備率(計画高までの整備と耐震化)及び水門・樋門等の耐震化率(①河川堤防の整備率)(国土交通省水管理・国土保全局調べ(平成30年3月))											
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における海岸堤防等の整備率(計画高までの整備と耐震化)を平成32年度までに約39%から約69%まで引き上げる。	南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における河川・海岸堤防等の整備率(計画高までの整備と耐震化)及び水門・樋門等の耐震化率(②海岸堤防等の整備率)(=計画高さまでの整備と耐震性の確保が完了している延長/南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等で、耐震対策等により背後地の重要な保全対象等の防護が完了する海岸における堤防等の延長)	成果実績	%	40	46	47	-	-	-	-	
			目標値	%	-	-	-	-	-	69	-	-
			達成度	%	58	67	68	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における河川・海岸堤防等の整備率(計画高までの整備と耐震化)及び水門・樋門等の耐震化率(②海岸堤防等の整備率)(国土交通省水管理・国土保全局調べ(平成30年3月))											
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における水門・樋門等の耐震化率を平成32年度までに約32%から約77%まで引き上げる。	南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における河川・海岸堤防等の整備率(計画高までの整備と耐震化)及び水門・樋門等の耐震化率(③水門・樋門等の耐震化率)(対策を実施した箇所/南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等で、耐震対策が必要とされた治水上重要な水門・樋門等の箇所)	成果実績	%	37	42	47	-	-	-	-	
			目標値	%	-	-	-	-	-	77	-	-
			達成度	%	48	55	61	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における河川・海岸堤防等の整備率(計画高までの整備と耐震化)及び水門・樋門等の耐震化率(③水門・樋門等の耐震化率)(国土交通省水管理・国土保全局調べ(平成30年3月))											

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度	
								32年度	33年度
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における、水門・樋門等の自動化・遠隔操作化率(①河川) (対策を実施した箇所/南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等で、自動化・遠隔操作化が必要とされた水門・樋門等の箇所)	成果実績	%	42	45	48	-	-	
		目標値	%	-	-	-	-	78	
		達成度	%	54	58	62	-	-	
根拠として用いた統計・データ名(出典)	南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域における、水門・樋門等の自動化・遠隔操作化率(①河川)(国土交通省水管理・国土保全局調べ(平成30年3月))								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度	
								32年度	33年度
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における、水門・樋門等の自動化・遠隔操作化率(②海岸) (=自動化・遠隔操作化等の対策を実施した施設数/南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等で、耐震対策が必要とされた治水上重要な水門・樋門等の施設数)	成果実績	%	48	52	56	-	-	
		目標値	%	-	-	-	-	82	
		達成度	%	59	63	68	-	-	
根拠として用いた統計・データ名(出典)	南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域における、水門・樋門等の自動化・遠隔操作化率(②海岸)(国土交通省水管理・国土保全局調べ(平成30年3月))								
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	27年度	28年度	29年度	30年度 活動見込	31年度 活動見込	
	実施箇所数(直轄河川)			活動実績	河川	4	4	-	-
			当初見込み	河川	4	-	-	-	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	27年度	28年度	29年度	30年度 活動見込	31年度 活動見込	
	実施箇所数(直轄・水資源機構管理ダム)			活動実績	ダム	-	-	-	-
			当初見込み	ダム	-	-	-	-	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	27年度	28年度	29年度	30年度 活動見込	31年度 活動見込	
	土砂災害対策箇所数			活動実績	箇所	-	-	-	-
			当初見込み	箇所	-	-	-	-	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	27年度	28年度	29年度	30年度 活動見込	31年度 活動見込	
	実施箇所数(海岸)			活動実績	海岸	1	1	1	-
			当初見込み	海岸	1	1	1	-	-
単位当たり コスト	算出根拠		単位	27年度	28年度	29年度	30年度活動見込		
	/			単位当たりコスト					
			計算式	/					

政策評価	政策	4 水害等災害による被害の軽減									
	施策	12 水害・土砂災害の防止・減災を推進する									
	測定指標	定量的指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標年度 32 年度		
		南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における①河川堤防の整備率(計画高までの整備と耐震化)及び②水門・樋門等の耐震化率(①河川堤防の整備率)	実績値	約〇%	42	47	-	-	-		
			目標値	約〇%	-	-	-	-	75		
		定量的指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標年度 32 年度		
	南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における①河川堤防の整備率(計画高までの整備と耐震化)及び②水門・樋門等の耐震化率(②水門・樋門等の耐震化率)	実績値	約〇%	37	41	-	-	-			
		目標値	約〇%	-	-	-	-	77			
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
	大規模な地震に伴う堤防の液状化等により甚大な被害が想定される区間において、堤防のかさ上げや堤防等の耐震・液状化対策、水門等の自動化・遠隔操作化を実施することにより、河川堤防の整備率や水門・樋門等の耐震化率の向上に寄与する。										
政策	4 水害等災害による被害の軽減										
施策	13 津波・高潮・侵食等による災害の防止・減災を推進する										
測定指標	定量的指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度			
	南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における海岸堤防等の整備率(計画高までの整備と耐震化)	実績値	約〇%	40	46	47	-	-			
		目標値	約〇%	-	-	-	-	69			
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
大規模な地震に伴う堤防の液状化等により甚大な被害が想定される区間において、堤防のかさ上げや耐震・液状化対策を実施することにより、海岸堤防等の整備率の向上に寄与する。											
改革項目	分野:	-									
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	29年度	30年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
		成果実績	-	-	-	-	-	-			
		目標値	-	-	-	-	-	-			
		達成度	%	-	-	-	-	-			
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	29年度	30年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
		成果実績	-	-	-	-	-	-			
		目標値	-	-	-	-	-	-			
		達成度	%	-	-	-	-	-			
	本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										
-											

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係

政策評価

経済・財政再生
アクション・プログラム

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	東日本大震災の被災を教訓とした地震・津波対策を実施する重要な事業であり、国民や社会のニーズは高い。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	河川法や海岸法等の関係法令に基づき、国が実施する重要な事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	東日本大震災の被災を教訓とした地震・津波対策を実施する重要な事業であり、優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	入札・契約手続きの透明性・競争性の確保に努めており、支出先は一般競争入札等の適切な入札・契約方式により決定している。 競争性のない随意契約となった案件は、土地代金や借地料等であり、その契約の相手方は一者に限定されるものである。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		
	競争性のない随意契約となったものはないか。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	関係法令に基づいて費用を国と地方公共団体が分担している。関係都府県に対して、毎年度、事業費や実施内容等を説明するなど、効率的な事業執行及び透明性の確保に努めている。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	現地の施工条件に合わせ経済的な施工を行っている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業目的に沿って予算を執行しており、その執行状況等を適切に把握・確認している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	事業実施にあたっては、複数の工法を比較検討し、効果的で低コストな工法を用いるなど、コスト縮減に努めている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果目標の達成に向け着実に実績をあげている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	治水計画等の策定の際に、河川改修やダム等の複数の対策案を比較検討の上、事業の実施手段を決定している。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	活動実績は見込みに見合った実績をあげている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	東日本大震災の被災を教訓として、災害に強い社会基盤整備を実施しており、整備した施設により洪水時等に所要の機能を発揮することが期待される。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		
	所管府省名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	国費投入の必要性、事業の効率性及び事業の有効性のいずれの観点からも、適切に実施されている。	
	改善の方向性	平成27年度で事業終了。 翌年度への繰越しについて、引き続き関係機関や地元自治体と連携を図り、地震・津波対策等を推進する。	

外部有識者の所見

行政事業レビュー推進チームの所見

終了予定

事業により整備した施設等が、地元自治体における地震・津波対策等の要諦として活用されるよう、一層の連携を図るべき。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

予定終了通り

今後、同様の事業を実施する場合にも、効率的・効果的に事業を遂行するとともに、整備した施設等が、適切に維持管理される様、地元自治体と引き続き密接な連携に努める。

備考

【平成24年度新仕分け評価結果】

・公共事業(全国防災)

全国防災事業については、東日本大震災の教訓をもとに津波に対する課題への対応の必要性が新たに認識されたものや緊急性、即効性が極めて高いものに限って、例外的に復興特別会計での計上を認める。

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	復興-74	平成24年度	174	平成25年度	124
平成26年度	121	平成27年度	126	平成28年度	137		
平成29年度	国土交通省 (0128)						